

～高松市の未来を話そう！

高松第一高等学校生徒と高松市議会議員による意見交換会～（第2回目）

日時：令和3年11月22日（月） 午後3時40分～午後5時

会場：高松第一高等学校

【午後3時40分】

新校舎棟1階大会議室にて全体会を開催。

司会は、高松市議会 中村議会運営副委員長

冒頭、高松市議会 小比賀議会運営委員長から、2回目の交換会の進め方等を説明し、その後、各グループで意見交換をするために、それぞれ1回目と同様の会場に移動しました。



【午後3時50分頃】

グループごとに高松市議会の各常任委員長が中心となって意見交換会を開始

グループ1（総務常任委員会）

（新校舎棟 大会議室にて）

テーマは、「自治会加入率向上を目指して」

1回目の交換会での意見を受けて、「ライフスタイルの中で、一番自治会との関係が薄い学生や子育て初期の女性が地域とのつながりを持つにはどうすればよいか」について、議論しました。

一高生からは、「子育て初期の女性がアドバイスをもらえる場所の提供」や「防災訓練を合同で実施することで共通の話題ができる」などの意見が出されたほか、「加入を検討してもらう時に、前向きな情報を地域の方が伝えていく」ことや、「市主導ではなく、市民が主体的に参加し、それぞれの地域の問題を話し合うことが重要ではないか」などの提言もいただきました。



グループ2（教育民生常任委員会）

（新校舎棟 アクティブ ラーニング ラボにて）

テーマは、「認知症の人とその家族を地域で支えていくために」

1回目の交換会での意見を受けて、「認知症の人とその家族がどのような支援を望んでいるのか、当事者の視点に立って考えてみる」ことを課題として、議論しました。

一高生からは、認知症患者本人の視点から、「GPSを搭載した目立つ色の認知症患者専用シューズを身に着ける」や「AIなども活用した薬の飲み忘れのお知らせ」、「バランスのとれた食事ができるよう、キッチンカーなどを活用し、地域の人と一緒に食事ができるようにする」など、また、介護者の視点からは、「男性介護者が行きにくい場所があるため、さりげなくアピールできる介護マークを身に着けてはどうか」や「介護休暇が安心して取得できる環境整備が必要」など積極的な意見・提言をいただきました。



グループ3（経済環境常任委員会）

（新校舎棟 第1小会議室にて）

テーマは、「プラスチックごみから、きれいな海と生き物を守るために」

1回目の交換会での意見を受けて、「SNSの活用やリサイクル工場見学等による周知啓発を具体的にどのように進めていくか」について議論しました。

一高生からは、「キャラクターのLINEスタンプを作成し、幅広い世代に使ってもらう」や、「工場見学やごみ拾い活動に、どの学校でも身近に参加できるように取り組むべき」など、また、既にごみを捨てている人への対応については、「ダミーの監視カメラの活用」や「市民がごみを拾いやすくするよう、ポイント制を導入する」など、様々な意見・提言をいただきました。



グループ4（建設消防常任委員会）

（新校舎棟 第2小会議室にて）

テーマは、「消防団への加入促進と取り巻く環境の向上について」

1回目の交換会での意見を受けて、「魅力的な広報（知ってもらう）・募集（入団してもらう）方法」について、議論しました。

一高生からは、「消防団に加入していれば受けられる特典が拡充されればいい」や「講習・資格を取得できると将来役立つので加入のきっかけになるのではないか」、「もっとイベントや体験をする場が



あればいい」などの意見・提言をいただきました。

最後に、実際に消防団の消防着や制服を着て、敬礼の練習をしてみました。3人ともとてもよく似合っていました。

【午後4時45分】

再度、新校舎棟1階の大会議室に集合し、各常任委員長から、これまでの交換会を通してのグループごとの議論の取りまとめを発表しました。

その後、生徒会長さんより、これまでの意見交換会の感想などを総括していただき、「今回の意見交換会での経験を今後活かしていきたい」との力強いお言葉をいただきました。

その後は、高松一高の細川校長先生からご挨拶をいただいた後、高松市議会藤原副議長が、お礼の挨拶をし、令和3年度の意見交換会を終了しました。

一高生の皆さん、議員双方にとって、とても有意義な意見交換会となったのではないかと思います。

市議会としましては、未来を担う高校生の皆さんからの提案を、少しでも今後の政策提言に反映できるよう努めてまいります。

参加して下さった一高生の皆さん、また校長先生を始め、意見交換会の実施にご協力くださいました先生方、職員の皆様、本当にありがとうございました。

